

ビジョンが浸透している状態については、一つの明確なゴール、定義があるわけではない。それぞれの生き方やまちへの関わり方の濃淡によって、浸透の状態は異なる。

たとえば、ビジョンがあることによって・・・

- ・ **ビジョンの中に好きなフレーズができる**
- ・ **京都のことを好きになる、誇りに思う**
- ・ **生活する中で、少しだけ周囲に対する意識が変わる**
(自然とのつながり季節の移ろいを感じるようになる、ボランティアや町内会の活動が目に入る、子ども達が遊んでいる様子がほほえましく思える等)
- ・ **応援したいと思う人やお店などが見つかる**
(文化や芸術、伝統を継承している人、地元の和菓子屋さん、地域活動をしている人など)
- ・ **自分が住んでいるまちのことにについて、考えるようになる**
- ・ **自分自身で何かビジョンに書かれていることを実践してみようという気持ちになる**
- ・ **ビジョンを踏まえて自分でできること、又は他者と一緒にできることを実践する。**
- ・ **ビジョンに書かれている内容について、日常の中で話題にする、議論している**
- ・ **京都ってこういうまちなんだよ、と京都を知らない人に話せる、外から見てもそういうまちなんだな、と認識してもらえる**

浸透のイメージ(事務局案)

◆ビジョンが浸透していくには・・・

存在を知り、理解して、共感が生まれ、自分ごと化を通して行動が生まれる。また、行動から共感が生まれ、新しい模索が生まれる。

このループに関わる人が増えていく＝浸透が進んでいく



京都市として、市民等がこのループに関わる仕掛けをつくりが必要！

ビジョンの浸透イメージ（案）



「長期ビジョン」の存在を知る
キーワードを知る
話題になる
・・・

好きなフレーズがある
自分のまちを誇りに思う
どんな京都になるのか妄想する
・・・

何かしたくなる
自身の活動を応援された気持ちになる
他の人と話題にする
・・・